

(教職課程を有する学部学生向け)

教職履修カルテについて

鹿児島大学の教職課程を有する学部では、学期末に「教職履修カルテ」を発行しています。「教職履修カルテ」とは、教員免許状取得に係る科目ごとの成績とは別に、それらの科目の履修を通して身に付けるべき教員として必要な知識技能の獲得状況をレーダーチャートで可視化したものです。学生自身の学習成果の確認や、4年後期の教職科目「教職実践演習」での使用を目的としています。皆さん自身による自己評価も含まれるため、現状を確認して自身の強化すべき点やより深く追求すべき点など、課題等を早期に発見し、その克服へ向けて各自の学習改善に活用することも可能です。

鹿児島大学の教職履修カルテのレーダーチャートでは、科目ごとの成績と GPA を基に、教員としての資質能力（以下の3 カテゴリー14 能力）の達成度を示しています。

なお、具体的な様式や記載項目については、次ページを確認してください。

教員としての資質能力一覧

カテゴリー		資質能力	
A	教職や教育の理解と協働力	1	教職の意義と役割を理解し、教育的愛情に支えられた使命感や職責感を持っている。
		2	教育の概念・歴史・思想・制度・方法に関する基礎的な知識を身に付けている。
		3	時代に応じて求められる多様な教育や地域連携、学校づくり、学級経営に関する知識を身に付け、教職の担っている社会的役割と求められる専門性について理解している。
		4	特別支援教育、教育における ICT 活用、複式・少人数指導に関する基礎的な知識を身に付けている。
		5	子供から大人まで、多様な相手とさまざまな目的に応じたコミュニケーションを取り、協働することができる。
B	子供理解と生徒指導力	1	子供の発達や心理についての基礎的知識・スキルを身に付けている。
		2	生徒指導や進路指導、カウンセリング及び教育相談についての基礎的知識・スキルを身に付けている。
		3	個々人の発達段階、心理状態を把握し、それらに応じた個や集団の指導・支援について構想することができる。
C	教育課程・教科等の理解と教育実践力（実践開発力）	1	学校における教育課程の編成・実施体制・改善に関するカリキュラムマネジメントの基礎的な知識を身に付けている。
		2	教育方法の理論や各教科・領域等の教育と評価に関する基礎的な知識を身に付けている。
		3	教科内容の背景となる専門領域の基礎的な知識や方法・技能を身に付けている。
		4	教科の目標・内容・方法を一貫させた授業を構想し実践できるとともに、評価や授業分析の方法に関する理解を活かして実践の分析・評価・改善ができる。
		5	教科の専門領域、学習者の発達特性や実態、教科の指導法等に関する自身の強みや専門性を活かして、効果的な学習活動を組織し、実践できる。
		6	特別支援教育、ICT 活用、複式・少人数指導に関する知識や基礎的な教育技術の理解を活かして、具体的な指導・支援の方法を構想し、実践できる。

【教職履修カルテに関するお問い合わせ先】

【全学】 鹿児島大学学生部教務課 教務係（教職・教師 C・稲盛 A 担当） 〒890-0065 鹿児島市郡元 1-21-30 TEL: 099-285-7346 FAX: 099-285-8808 E-mail: kdaigaku@kuas.kagoshima-u.ac.jp	【各学部・研究科】 問合せ先は各部局で異なりますので、所属部局の教務／学生係で確認してください。
--	--

教職履修カルテの概要

教職課程履修カルテには、以下①～⑤の情報を記載しています。

鹿児島大学 教職課程修習カテ

①

1. 基本情報	名前	入学年度
学号	姓	名

②

2. 修業としての履修科目一覧		科目の修得の程度を評価する単位の修得の要否区分	履修カテゴリー別 修得状況
カテゴリー	実修能力		
A 基礎・専門基礎と基礎力	1 英語基礎(英語と基礎文法、基礎文法事項に必要となる基礎的な単語を覚えていること)	英語・基礎級	修得済
	2 英語基礎(読書・聴解・表現)基礎(英語の基礎的な文法事項の理解を達成していること)	英語・基礎級	修得済
	3 英語基礎(読書・聴解・表現)基礎(英語の基礎的な文法事項の理解を達成していること)	英語・基礎級	修得済
	4 英語基礎(読書・聴解・表現)基礎(英語の基礎的な文法事項の理解を達成していること)	英語・基礎級	修得済
	5 英語基礎(読書・聴解・表現)基礎(英語の基礎的な文法事項の理解を達成していること)	英語・基礎級	修得済
	6 英語基礎(読書・聴解・表現)基礎(英語の基礎的な文法事項の理解を達成していること)	英語・基礎級	修得済
	7 英語基礎(読書・聴解・表現)基礎(英語の基礎的な文法事項の理解を達成していること)	英語・基礎級	修得済
	8 英語基礎(読書・聴解・表現)基礎(英語の基礎的な文法事項の理解を達成していること)	英語・基礎級	修得済
	9 英語基礎(読書・聴解・表現)基礎(英語の基礎的な文法事項の理解を達成していること)	英語・基礎級	修得済
	10 英語基礎(読書・聴解・表現)基礎(英語の基礎的な文法事項の理解を達成していること)	英語・基礎級	修得済
B 専門基礎と基礎力	1 英語基礎(読書・聴解・表現)基礎(英語の基礎的な文法事項の理解を達成していること)	英語・基礎級	修得済
	2 英語基礎(読書・聴解・表現)基礎(英語の基礎的な文法事項の理解を達成していること)	英語・基礎級	修得済
	3 英語基礎(読書・聴解・表現)基礎(英語の基礎的な文法事項の理解を達成していること)	英語・基礎級	修得済
	4 英語基礎(読書・聴解・表現)基礎(英語の基礎的な文法事項の理解を達成していること)	英語・基礎級	修得済
	5 英語基礎(読書・聴解・表現)基礎(英語の基礎的な文法事項の理解を達成していること)	英語・基礎級	修得済
	6 英語基礎(読書・聴解・表現)基礎(英語の基礎的な文法事項の理解を達成していること)	英語・基礎級	修得済
	7 英語基礎(読書・聴解・表現)基礎(英語の基礎的な文法事項の理解を達成していること)	英語・基礎級	修得済
	8 英語基礎(読書・聴解・表現)基礎(英語の基礎的な文法事項の理解を達成していること)	英語・基礎級	修得済
	9 英語基礎(読書・聴解・表現)基礎(英語の基礎的な文法事項の理解を達成していること)	英語・基礎級	修得済
	10 英語基礎(読書・聴解・表現)基礎(英語の基礎的な文法事項の理解を達成していること)	英語・基礎級	修得済
C 専攻基礎・専攻基礎力	1 英語基礎(読書・聴解・表現)基礎(英語の基礎的な文法事項の理解を達成していること)	英語・基礎級	修得済
	2 英語基礎(読書・聴解・表現)基礎(英語の基礎的な文法事項の理解を達成していること)	英語・基礎級	修得済
	3 英語基礎(読書・聴解・表現)基礎(英語の基礎的な文法事項の理解を達成していること)	英語・基礎級	修得済
	4 英語基礎(読書・聴解・表現)基礎(英語の基礎的な文法事項の理解を達成していること)	英語・基礎級	修得済
	5 英語基礎(読書・聴解・表現)基礎(英語の基礎的な文法事項の理解を達成していること)	英語・基礎級	修得済
	6 英語基礎(読書・聴解・表現)基礎(英語の基礎的な文法事項の理解を達成していること)	英語・基礎級	修得済
	7 英語基礎(読書・聴解・表現)基礎(英語の基礎的な文法事項の理解を達成していること)	英語・基礎級	修得済
	8 英語基礎(読書・聴解・表現)基礎(英語の基礎的な文法事項の理解を達成していること)	英語・基礎級	修得済
	9 英語基礎(読書・聴解・表現)基礎(英語の基礎的な文法事項の理解を達成していること)	英語・基礎級	修得済
	10 英語基礎(読書・聴解・表現)基礎(英語の基礎的な文法事項の理解を達成していること)	英語・基礎級	修得済

③

3. カテゴリーに該当する履修科目と成績(全体)		履修科目別		単位
カテゴリー	履修科目	単位	成績	単位
A	英語基礎(英語と基礎文法)	1		
B	英語基礎(読書・聴解・表現)	1		
C	英語基礎(読書・聴解・表現)	1		
計				

取得単位数推移(カテゴリー別)

[illegible]

鹿児島大学 教職課程履修カルテ

4. 自己評価

全学年を通じて自己評価し、達成度や課題について考察しよう。

自己評価の時期	1 教職実践能力の向上と達成度				2 学習態度と自己効力				3 授業計画・教材準備と授業実践力（実践）			
	A1	A2	A3	A4	B1	B2	B3	C1	C2	C3	C4	C5
1学期												
2学期												
3学期												
4学期												

（1:該当する、2:どちらかというと該当する、3:どちらかというと該当しない、4:該当しない）

※自分についての振り返りや、経験や実践についての見方・考え方を整理しよう。

※配下の表等に、記入した年月日を（ ）書き添える。

<p>教員としての授業実践力</p> <p>（教員としての授業実践力について、今の自分の現状状況を、今後の目標をも含めて具体的に書く。）</p>	
<p>指導信念の形成</p> <p>（指導信念を形成している教員免許状の学校種・教科を書く。）</p>	
<p>卒業後実践</p> <p>（卒業後の実践についての考えを書く。）</p>	
<p>学外体験</p> <p>（学外（教員免許外）における経験に関する体験等について、その内容を書く。（学校や地域の子どもたちへの支援、社会教育活動など）</p>	

<p>指導助言メモ欄</p> <p>（教員との面接の後に、指導助言を受けた内容をメモする。）</p>	
--	--

[illegible]

① 基本情報

学籍番号、入学年度、所属、氏名などを記載しています。

② 教員としての資質能力一覧

3 カテゴリー14 能力を記載しています。

③ 各カテゴリーに該当する履修科目と成績

カテゴリー又はカテゴリー内の資質能力を軸として、本人が取得した単位やその成績評価をその軸に振り分けたレーダーチャート作成することにより、達成度を可視化しています。さらに、学生自身による自己評価を表示し、他者評価（最終成績）との対比を可能にしています。

- ・ カテゴリー全体
- ・ カテゴリーA 教職や教育の理解と協働力
- ・ カテゴリーB 子供理解と生徒指導力
- ・ カテゴリーC 教育課程・教科等の理解と教育実践力（実践開発力）

④ 自己評価

自分についての振り返りや、教職や進路についての見方・考え方を記録した内容を記載しています。

- ・ 自己評価の推移（1 年次～4 年次）
各年次に各資質能力に対する自己評価を行い、その推移を確認する欄です。
- ・ 教員としての資質能力
教員としての資質能力について、今の自分の修得状況を、今後の課題等も含めて総括的に記載する欄です。
- ・ 取得希望免許
取得を希望している教員免許状の学校種・教科を記載する欄です。
- ・ 卒業後進路
卒業後の進路についての考えを記載する欄です。
- ・ 学外体験
学校や地域の子供たちへの支援、社会教育活動といった学外（教育課程外）における教職に関する体験等について、その概要を記載する欄です。
- ・ 指導助言メモ欄
教員との面談等の後に、指導助言を受けた内容等を記載する欄です。

⑤ 教科及び教職に関する科目一覧表

履修済みの科目について、該当する「教員としての資質能力」の割合や単位数を一覧表として記載しています。